



トルコギキョウのブラスチング軽減対策に向けた LED照明の選定



写真1 ブラスチングした蕾

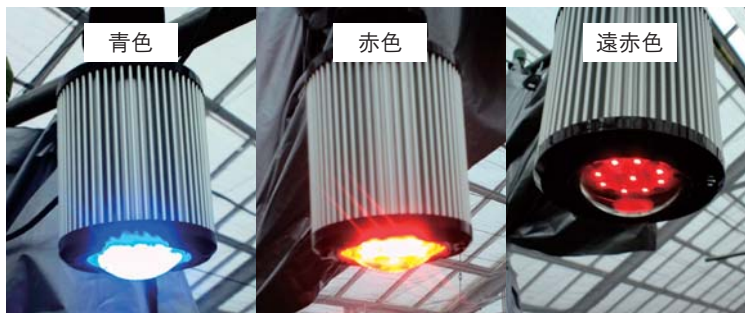


写真2 LED照明



写真3 ‘クラリスピンク’

表 LED照明による電照がブラスチングの発生に及ぼす影響

試験区	側枝数 (本/株)	有効花蕾数 (個/株)	ブラスチング 花蕾数 (個/株)	ブラスチング 小花発生率 (%)
青色一日没後	2.3	3.9	0.8	17
青色一暗期中断	2.3	3.0	1.7	36
青色一夜明前	2.3	3.7	0.8	18
赤色一日没後	2.2	3.9	0.5	11
赤色一暗期中断	2.7	5.0	0.5	9
赤色一夜明前	2.0	3.6	0.4	11
遠赤色一日没後	2.6	4.8	0.4	7
遠赤色一暗期中断	2.4	4.4	0.4	8
遠赤色一夜明前	2.2	3.7	0.6	14
無電照	2.2	3.9	0.6	13

注) 品種はクラリスピンク。
播種後10℃暗黒下で21日間冷蔵後、昼温25℃夜温15℃で56日間冷房育苗した苗を2011年10月4日に定植。
電照期間は発蕾～収穫終了まで。電照時間帯は、日没後3時間、暗期中断(22:30～1:30)、夜明前3時間。

トルコギキョウの冬春出し(1～3月)栽培では、生育環境が低日照・短日条件であるため、ブラスチング(蕾の枯死)(写真1)が発生しやすく、花数の減少による品質の低下や出荷率の低下が問題となっています。

そこで、冬春出し栽培でのブラスチングの発生を抑制するために、LED照明(写真2)の種類と電照する時間帯の組み合わせについて、ブラスチングが発生しやすい‘クラリスピンク’(写真3)を用いて検討しました。

その結果、主茎頂花(1番花)の発蕾から収穫終了時までの期間に、赤色LED照明

で暗期中断、または遠赤色LED照明を日没後および暗期中断によって電照すると無電照に比べてブラスチングが減少する傾向がありました。また、青色LED照明で電照すると無電照に比べてブラスチングが多く発生し、青色LED照明は適していませんでした。

今後は、赤色と遠赤色のLED照明を用いて、電照時間の長さがブラスチングの発生に及ぼす影響について検討し、ブラスチングの発生を最も抑制できる電照技術の確立を目指します。

(花き担当 門田太志 088-863-4918)